

子どもミーティングの
「まちづくりの提言」に対する処理方針

平成28年度
鹿児島市 市民協働課

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成28年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<多世代との対話の場>			
1	今回のミーティングで話すこと、話しやすい場の大切さを実感できました。悩みとかを話せる場はありますが、相手が見えないことが多いので、その分不安もあると思います。人が見えることでの安心感もあると思うので、自分の不安や悩みを聴いてもらえて、人から見た自分を客観的に見た意見をもらえる場を設けて欲しいです。	市民局	素晴らしいご提言を頂きありがとうございます。また、ご協力頂いた大学生の皆さんには、ご指導いただき、感謝申し上げます。 この3日間という短い間の経験で、参加された皆さんの行動なども変わってきたということで、今後もこのような事業を続けていきたいと思ったところです。
2	私が今望んでいる社会づくりに必ず関わるのは人間です。その人たちが、ちゃんと他の人たちを考慮することができないと、自分の欲望や意見だけがぶつかり合って、どんどん社会が壊れていくんじゃないかと思います。私は、”人のことを考える”ことを大切にできる人や機会を増やして欲しい。		中高生が鹿児島県の幅広い世代の方と交流や意見交換を持つような場が欲しいという提言を頂きました。今回の子どもミーティングのように、世代間を越えて多くの方と対話を行い、色々な体験をすることは大切なことだと思います。
3	ぼくはやりたいことを満足にやれているときが一番嬉しいと思っています。そして友だちと一緒にやるとなるともっと嬉しくなります。今回の中高生ミーティングのように、いろんな人と会ったり、触れ合ったりするイベントを増やしてほしいです。人と触れ合うことで、コミュニケーション能力もあがると思います。		特に、これからの鹿児島市の将来を担う中高生のみなさんが、社会人の方々と一緒になって、これからのまちづくりについて、大いに興味を持ってもらえたということは素晴らしいことだと思います。
4	いろんな人と話し合うことは、新しい自分の発見につながるのではないかと思います。僕は、中高生ミーティングに参加して一歩前進できたからです。今回のような働いている方と意見交換できる場を企業も含めて、増やしてほしいです。		このように、子どもミーティングは、大変大きな効果があることが改めてわかりましたので、今後とも、この子どもミーティングをはじめ、若い方々が色々な世代の方とお話ができるような場を増やしていきたいと考えております。
5	私が不安に思っていることは、進路が見つかるか、どこの大学で、どんな分野を勉強するか、どこに就職するのかなど、はっきり見えなくて不安です。私は、社会に対して、さまざまな人との出会いや、たくさんの人と会話ができる機会をもっと増やしてもらいたいと思っています。		また、今後、人口減少が進む中、地域の中で連携を行い、どのような体制を作っていくかということも大切です。特に災害が起きた時に、地域の方や家族、親せきの方と共助ができる関係性をもてるような社会を作っていくことが大切だと思います。
6	このイベントを通して、いろんな人の考え方を知りました。僕が社会に求めていることは、このような多世代が対話できる機会や場所がもっと増えてほしいです。また、みんなが知らないという意味がないので、つながるための情報をもっと発信してほしいです。		本市では、この「子どもミーティング」以外にも、昨年度から、国際感覚を持った若者を育成する「かごしま創志塾」を開始しています。これは、中学生・高校生が、社会人の方々から、色々なことを教えて頂く塾ですので、機会がありましたら是非、応募して頂ければと思います。
7	私は、学校とかいろんな場で、みんなとやらないとやり遂げられないことがあって、それをみんなとやり遂げたときに嬉しさや喜びを感じます。地域や周りの人と協力し、自分の好きなことを大切にできる社会や、自分の好きなことを馬鹿にされたりしない社会をつくってほしい。		
8	鹿児島にいる人が少なくなるのも心配です。社会に、今回のような中高生ミーティングや、少人数で気軽に自分の意見を話せる場ができてほしいです。また、鹿児島に、人が集まるような遊園地や大きな会社ができてほしいです。		

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成28年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<仕事を知る機会>			
9	「職業を知る機会がほしい」です。中学生の時、コンビニの職場体験をしたことがあります。本当は自然とかに関係するマイナーな仕事に興味があります。例えば林業とか、普段見れないような職業を知る機会がほしいです。	総務局 市民局 産業局 交通局 水道局 船舶局 教育委員会	職業体験等につきましては、それぞれの学校や様々な職場で仕事の体験事業を行っておりますので、そのような機会をぜひ活用し、仕事の意義などを考えて頂ければと思います。 キッズニアのような仕事が体験できるような施設があれば、中高生が将来の職業について考えるときに参考になると思いますが、市の財政状況を踏まえると、市で設置することは難しいものと考えています。
10	職業には、公務員や学校の先生のような現実的な仕事や、政治家や芸能人、オリンピックに出る人たちのような、ほんの一握りの人しかできない非現実的な仕事がある。地域によって、就職試験や説明会があつたりなかったりとか、そういう差がある。県内で、いろんな、現実的・非現実的などちらの仕事にも挑戦できるような社会にしてほしい。	産業局 教育委員会	
11	今回、社会人の方に話を聞く中で、英語を使った仕事にも興味が出てきました。やりたいことが多すぎて、どれを選んでいいかわからない。また、何かに決めたとしてもそれが自分に合うのか、不安を感じる。その不安を解消するために、経験をする場を増やして欲しいと思います。例えば、「留学を経験する場」や「ボランティア参加ができる場」、「職場体験の場」を増やしてほしいと思います。	総務局 健康福祉局 産業局 教育委員会	
12	今回、鹿児島で働く大人の方とたくさん話をしました。そして、鹿児島にもこんなに私の知らない仕事があるのだなあと思いました。自分が興味のある分野や、そうでないときでも、その仕事の中で楽しめることや興味をもてることを探して仕事を見たり聞いたり、いつかアルバイトも体験してみたいです。そんな私は、中学生、高校生が色々な仕事を体験できるキッズニアみたいなものをこの鹿児島市にも作ってほしいです。	産業局 教育委員会	

「子どもミーティング」の提言に対する対応状況一覧

平成28年度 子どもミーティング

番号	提言内容	関係部局	市長回答
<交流イベントの開催>			
13	<p>私は、アニメや漫画、外国などの異なる文化を知ることにより喜びやうれしさを感じます。私は将来、好きなものの良さを他の人に伝えられ、相手の好きなことを受け入れられるような大人になりたいです。そんな私が社会に求める提言は、アニメや漫画を通じて、いろんな世代の人や外国の人とコミュニケーションをとれるような場がほしいです。</p>	総務局 市民局	<p>私は、今年の7月にアメリカのサンディエゴに行きました。そこでは、日本のマンガをアピールする大会があり、全米、世界から何十万という人達が集まってきていました。日本のマンガが世界中の多くの方々に愛され、注目されているのを見て、驚いたところです。また、そのことが、日本と海外との交流のきっかけや、輪の広がりにつながるために役割を担っていると感じました。</p> <p>鹿児島市は、国際観光都市として、海外との交流を進めており、毎年、秋にはアジアから多くの若者に参加して頂く「アジア青少年芸術祭」を行い、若者同士の交流の機会を設けています。</p> <p>また、「青少年の翼」という事業では、中高生等が姉妹都市などを訪問し、都市の学生との交流を行っています。「青少年の翼」は、毎年、募集を行っていますので、是非、応募して参加頂ければと思います。</p>
<活発な鹿児島に向けて>			
14	<p>実際に行動を起こすまでにさまざまなことを考え、とても時間がかかることに不満や不安を感じます。</p> <p>僕が社会に求めることは、「とにかくやってみる！」という心がけです。</p> <p>これによって町や県が活性化し、さまざまな意見が出てきて、町や県全体が明るくなると思うからです。</p>	市民局	<p>チャレンジ精神というのは、いつの時代になっても特に若い人たちにとって大事なことです。</p> <p>何かを新しくはじめることは、勇気がいることですし、始めてみてもなかなか上手くいかないことが多かったりと思いますが、若い皆さんが、自分自身で考えて行動したことは自信となり、経験から学ぶことは、今後の人生に必ず役立つと思います。</p> <p>「とにかくやってみる」という今のその気持ちを大事にして、積極的に行動する若い皆さんが、鹿児島にいるということは、大変心強く思いますし、将来の鹿児島の大きな原動力になると思いますので、ぜひ、中高生の若いうちに色々なことに挑戦して頂ければと思います。</p>